

平成28年度第1回事務事業評価における総括

部 局 名	文化生涯学習部	記入責任者	鈴木 深雪
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>文化生涯学習部の業務計画に位置付けた重点事業である、文化生涯学習課の生涯学習の機会の提供は、目標値を達成できなかったことから、C評価としています。</p> <p>文化生涯学習部の業務計画に位置付けた事業では、32事業のうち29事業がS評価、1事業がA評価、B評価としたものが1事業、目標値は達成できなかったが、成果は今後見込めるとして1事業をC評価としていることから、概ね順調に進捗しています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>C評価とした生涯学習の機会の提供については、地域に根ざした学習活動の促進のため、市民主導で様々な講座等を実施していますが、目標とした定員数に達しなかった連続講座について会場が統一できなかった点、また、聞きたいと思わせる講座内容の案内が出来ず、目標値に達することができませんでした。一方、すべての講座において、受講した方の満足度は高かったことから、講座の内容に問題があったのではなく講座開催にあたって、周知方法に原因があったと分析しています。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>順調に進捗している事業については、今後も引き続き進めるとともに、行政から民間にシフト出来るものの見極めや、業務に係る人工の見直し、市民ニーズを踏まえた事業の統合・廃止を行い、今後成果が見込まれる事業について費用対効果を十分に念頭に置きながら成果が現れるように重点的に資源の注入を行います。</p> <p>文化生涯学習課及びスポーツ健康課の指定管理に関する事業等につきましては、目標値は達成していますが、さらなる財源確保及び経費節減の観点から、指定管理者の公募化について研究していきます。</p> <p>男女共同参画課の男女共同参画社会の実現に向けた啓発等推進事業につきましても、目標値は達成していますが、政策目標である「男女共同参画社会が実現している」という市民の割合は目標値に達しておりません。県との共催や公民館、他課との連携をこれまで以上に図りながら、地域への展開を図ります。</p>			